

東日本大震災津波伝承館について

1 いわて県民計画（2019～2028）の位置付け

「復興推進プラン」の4本の柱「未来のための伝承・発信」のもと、事実・教訓の伝承へ取り組んでいく。

【第1期アクションプラン—復興推進プラン（2019年度～2022年度）】

IV 未来のための伝承・発信（抜すい）

1 事実・教訓の伝承

未曾有の大規模災害の事実や被災された方のこれまでの経験を踏まえた教訓を確実に伝承し、その教訓を防災文化の中で培っていきます。

取組項目 22 教訓を伝承する仕組みづくりを推進します

① 東日本大震災津波伝承館の整備・運営

災害の歴史から学び、記憶や経験を語り継ぎ、将来に生かすため、高田松原津波復興祈念公園内に東日本大震災津波伝承館を整備し、展示及び教育・普及の事業を実施します。

また、大学、類似施設、被災地をはじめとする県内各地域等と連携し、防災文化の効果的な醸成と継承を図ります。

2 東日本大震災津波伝承館の設置目的（東日本大震災津波伝承館条例）

- (1) 東日本大震災津波の教訓の伝承（第1条）
- (2) 東日本大震災津波の発災から復興に至るまでの状況の国内外への発信（第1条）
- (3) 復興支援に対する感謝の発信（条例前文）

3 ミッション・ステートメント（施設の基本理念 H30.1.9 決定）

日本列島は、地球上でも特に自然災害の危険性が高い宿命の地であり、この地に生きる私たちは、長年にわたり自然災害への対応力を高めてきました。

しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。

この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。

そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。

※ ミッションステートメント: 来館者に向けて、施設の基本理念を表明することにより、展示及び事業運営の指針を明確に示し、訴求力を高めようとするもの。

4 東日本大震災津波伝承館オープン日

令和元年9月22日（日）

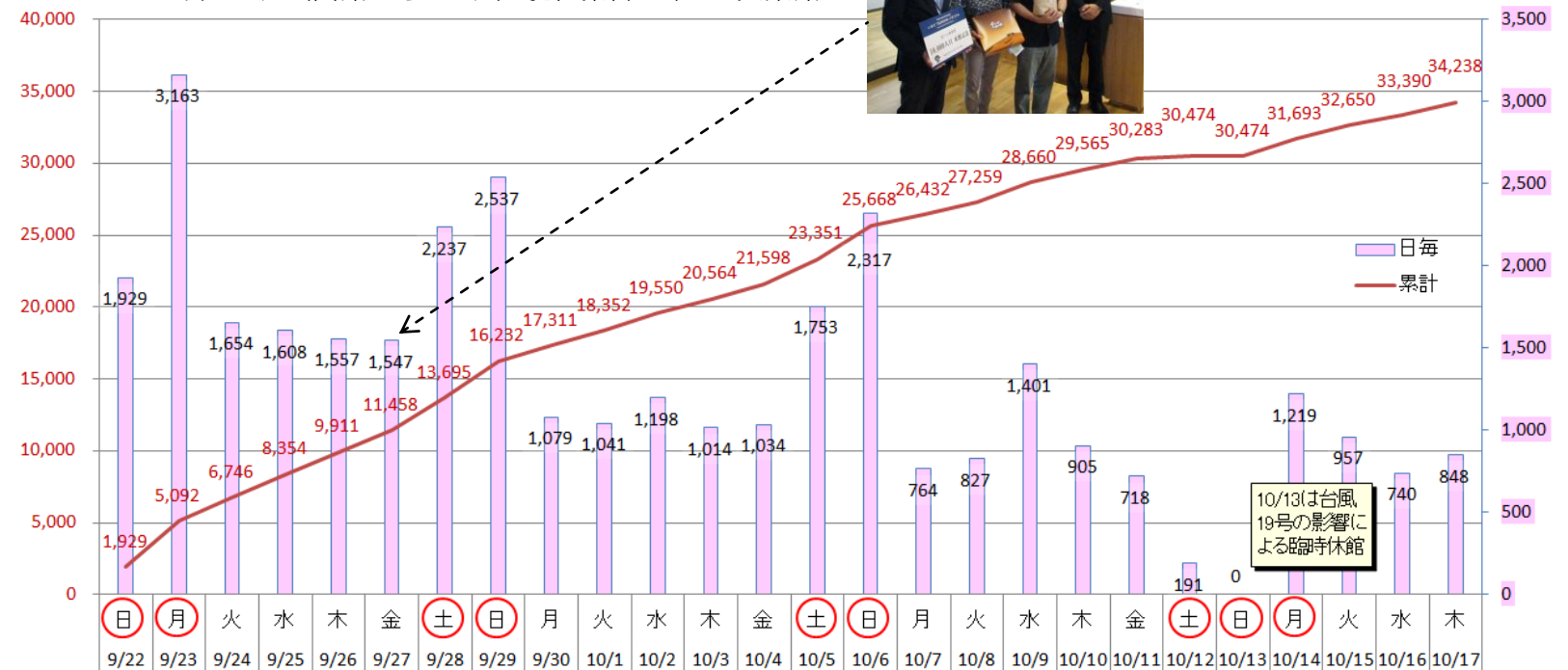


5 施設の概要

(1) 名称	東日本大震災津波伝承館
(2) 愛称	いわて T S U N A M I メモリアル
(3) 設置場所	陸前高田市気仙町字土手影 180 番地（高田松原津波復興祈念公園内）
(4) 規模・構造	鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積（2 階含む）7,079 m ² のうち展示面積 1,155 m ²
(5) 開館時間	9 時から 17 時まで（最終入館時間 16 時 30 分）
(6) 休館日	12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで 施設メンテナンスのため必要となる日（概ね年 4 日程度）
(7) 入館料	無料

6 来館者数の推移

10月17日（開館から25日）現在累計 34,238 人来館



【団体予約の状況】

○ 団体予約については、9月22日（開館）から11月までに、51件（1,888人）の受入れを見込んでいるところ（下表のとおり）。

区分	件数	人数(計)
観光関係	15件	615人
小学校	2件	119人
中学校	4件	124人
高校	9件	515人
大学	2件	70人
自治体等行政関係	19件	445人
合計	51件	1,888人

7 常設展示の内容

展示のテーマ	命を守り、海と大地と共に生きる ～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～	
展示構成	展示内容	
エントランス (24H) 来館者を最初に迎えるインフォメーションゾーン。公園、陸前高田市、三陸沿岸地域、3.11 伝承ロード等の情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> 施設案内、避難案内 高田松原津波復興祈念公園ガイド 陸前高田市市街地ガイド 岩手県 三陸ガイド [地図] 岩手県 三陸ガイド [検索装置] 3.11伝承ロード [地図] 全国・世界の類似館紹介 [検索装置] メッセージボード [壁面モニター] 施設メッセージ [壁面モニター] 	
ガイダンスシアター	命を守り、海と大地と共に生きる <ul style="list-style-type: none"> 一般向け [40席 映像12分] 子ども向け [40席 映像10分] 	
ゾーン1：歴史をひもとく 津波災害を歴史的・科学的視点からひもときます。古来、育まれてきた知恵や技術、文化を見つめ直し、自然とともに暮らすということを改めて考えます。	1-1 地球の活動と地震・津波 [動画] 1-2 くり返す津波の歴史 1-3 日本の自然災害対策	
ゾーン2：事実を知る 被災した実際の物、被災の現場をとらえた写真、被災者の声、記録などを通して、東日本大震災津波の事実を見つめます。	2-1 東日本大震災津波の概要 2-2 被災物が語る津波の威力 2-3 失われた風景 2-4 被災者が語る津波の脅威 2-5 2011年3月11日 東日本大震災津波発生 [12席 映像6分]	
ゾーン3：教訓を学ぶ 逃げる、助ける、支えるなど、東日本大震災津波の時の人々の行動をひもとくことで、命を守るための教訓を共有します。	3-1 命を救うために 災害対策室 [20席 映像8分] 3-2 命を守る・支える 3-3 生きるための避難 3-4 未来をつくる	
ゾーン4：復興を共に進める 国内外からいただいている多くのご支援に対する感謝の気持ちとともに、東日本大震災津波を乗り越えて前へと進んでいく被災地の姿を伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> 支援への感謝 みんなで復興を考えるテーブル [地図、モニター] 企画展示 	

※ 展示内容については、外国人に対応するため、多言語対応（日・英・中繁・中簡・韓）とする。

8 伝承館職員

職名	氏名
館長	達増 拓也（知事）
【総務担当】	
副館長兼総務課長	熊谷 正則
主任主査	熊谷 和典
主任	及川 源太郎
【事業担当】	
副館長	立花 起一
事業課長	野崎 正隆
上席専門学芸員	齋藤 里香
主査	佐々木 済通
主査	小笠原 伸也
【解説員】	
解説員	佐藤 哲郎
	戸羽 純子
	金野 聡子
	千田 房代
	美野 生子
解説員（英語対応）	吉田 彰
	平本 謙一郎
解説員（中国語対応）	ザカリ・ポール・キャセルマン
	下斗米 霞
	海山 めい